

## 2021 年度ゼミ (4001 演習 3A/4002 演習 3B) 要覧

担当者名	助川哲也
演習テーマ	「希望学」
内容 と 卒業論文の 指導方針	国内外、有名無名を問わず、逆境の中でも「希望」を失わずに何かを成し遂げた人物に焦点を当てる。学生は、「希望」をどこかに入れ込んだ各自の卒業論文に挑むとともに、当ゼミだけで制作する小冊子「希望学」への執筆も課題となる。
メール・アドレス	<a href="mailto:sukegawa@k.meijigaku.ac.jp">sukegawa@k.meijigaku.ac.jp</a>
オフィス・アワー	いつでも。(ただし予約制。メールにて申し込むこと)
授業概要	2年間を通じた「希望学」の集大成。演習 3A の前半は、「ハンセン病療養所からの表現」や「フクシマからの表現」を教員が学習素材として準備する。後半は学生各自が対象を選び、発表を通じて、卒業論文の組み方や執筆の方法を取得していく。演習 3B では、それぞれの卒業論文の中間発表を繰り返し行うとともに、全員で小冊子「希望学」を編んでいく。
学習目標	世界を舞台に、絶望と希望についての学びを深めていくのは、どんな環境にあっても、またどんな時代が来ても、たくましく、創造性をもって生きていける「希望のスペシャリスト」になってもらいたいからだ。人を知り、表現を知り、社会の一隅を照らす星となって巣立ってもらいたい。
授業計画	たとえば、交通事故の犠牲者を減らすためにガードレールを考案し、それを街に広めたのは誰なのか？ 世の中は、無名の人々の希望と努力によって支えられている。学生に問われるのは、対象の選択とその取材力である。執筆だけではなく、現場での取材などアプローチの方法なども授業に取り入れていく。
予習	自ら対象に迫る努力が必要。
復習	扉をあけたあとは、研究を深める努力が必要。
授業に関する 注意事項	自ら学んだことが、人生を支える。主体的に取り組んで欲しい。
教科書	教員が作成する。
参考書	教員がその都度、指示する。
成績評価の 基準	平常点。
関連 URL	
備考	